

令和4年度 学校経営方針

五所川原市立いずみ小学校

1 教育目標（めざす子ども像）

◎ 仲間を大切にし、心豊かにたくましく生きる子ども

- ・仲間を大切にし : 学級、グループ、縦割り班、委員会活動など、物事を一緒にする集団の構成員同士で尊重し合う
- ・心豊かで : 良さや美しさを感じる心をもつ
- ・たくましく生きる : 苦手なことにも挑戦し、やり抜く

- よく考えて学び合う子
- なかよく助け合う子
- 元気にきたえ合う子

- ・よく考えて : 正しく理解し、筋道を立てて思考する、よりよく説明する
- ・学び合う : 協働、対話により自己の考えを広げ、深める
- ・なかよく助け合う : 裏表なく付き合い、互いに助けたり助けられたりする
- ・元気に : 生活習慣が整い健康である、覇気がある
- ・きたえ合う : 励まし合い、一緒に厳しい練習をする

2 経営方針

- (1) 子どもの自己有用感を高める教育活動を創意工夫する。
 - ・賞場の場を数多く設け、子どもに達成感を味わわせる。
 - ・子ども同士が認め合う場を設定し、人間関係づくりを支援する。
 - ・「分かるようになる」「できるようになる」授業実践と望ましい学習習慣づくりに努める。
- (2) 授業の改善と充実に努める。
 - ・個に応じた指導を展開し、個を生かす授業づくりに努める。
 - ・子ども一人一人に基礎・基本を確実に身につけさせ、成就感を体得させる。
- (3) 全教職員による組織的・機動的な学校運営に取り組む。
 - ・報告、連絡、相談・確認を徹底し、組織内で確実に情報を共有する。
 - ・教育目標の具現化に向け、分掌組織を機能させる。
- (4) 教職員の心身の健康増進に向け、多忙化解消に取り組む。
 - ・計画的な休暇取得を推進し勤務休暇取得率向上を目指す。
 - ・毎週金曜日を定時退勤日とする。
 - ・業務の見直しや会議等の効率化を図る。
- (5) 地域や家庭と連携し、社会に開かれた学校運営に取り組む。
 - ・外部の人材を積極的に活用するとともに、第四中学校との連携を強化する。

3 めざす学校像

○ 安全・安心で子どもの笑顔あふれる学校

- | | |
|---------|-----------------------------------|
| ・安全 | : 生命に危害がおよぶ心配がない（施設・設備・環境・非常時対応等） |
| ・安心 | : 不安や心配がない（居場所がある、支えてくれる、助けてくれる等） |
| ・笑顔あふれる | : 自己有用感(できるようになる、認められる、自信がある等) |

4 めざす教員像 「校長及び教員の資質の向上に関する指標について」(H30.2.14 県教委)より抜粋

- 学び続ける向上心を持ち、常により良い実践を追い求める教員
- 児童が生きていく未来を見据え、教育課題に挑戦し続ける教員
- 専門職として高い知識や技能、指導力を身につけている教員
- 家庭・地域社会との連携を図り、学校としての組織対応ができる教員

5 重点事項

- (1) ものごとを筋道立てて考える子の育成
 - ①思考・判断・表現力を高める授業実践（考えさせる、話させる、書かせる）
 - ②家庭学習習慣の育成
 - ③読書活動の充実（読解力向上、読書習慣・家庭読書習慣の形成）
- (2) 思いやりをもってみんなと協力する子の育成
 - ①あいさつや相手のことを思いやる声かけの励行
 - ②よりよく生きる基盤となる道徳性の育成(考え議論する道徳の授業実践を含む)
 - ③協働的な学び、体験活動・交流活動の充実
- (3) めあてに向かって仲間と運動に励む子の育成
 - ①教科体育の充実
 - ②体力づくりの創意工夫
 - ③健康教育の推進（朝食、睡眠、むし歯予防、感染症予防）
- (4) やりがいを感じ、活気のある学校づくり
 - ①学び合い、高め合う同僚性の高揚
 - ②夢や目標、意欲をもたせる指導
 - ③達成感や満足感、自己有用感を味わえる場の設定
- (5) 学ぶ環境の整った、清潔で美しい学校づくり
 - ①清掃の行き届いた清潔な環境整備
 - ②整理・整頓された教室環境づくり（特別教室、準備室を含む）
 - ③施設・設備、教材の点検と速やかな修繕
- (6) 安全・安心で信頼される学校づくり
 - ①安全に配慮した教育活動の実施
 - ②いじめや悩みの早期発見、早期対応
 - ③教職員のコンプライアンスの徹底